

2024年度 第2四半期 決算説明資料

2024年8月8日

SBSホールディングス株式会社（東証プライム市場：2384）





01 2024年度第2四半期連結業績概要

02 SBSグループの成長戦略

01 2024年度第2四半期連結業績概要

02 SBSグループの成長戦略

2024年度 第2四半期 連結業績

- 物流事業における新規顧客獲得等による売上増加あるも、物量減や海上運賃下落、新拠点開設等によるコスト増により減収減益

(単位：百万円)

	23/2Q累	24/2Q累	増減額	増減率
売上高	222,666	221,739	△926	(△0.4%)
営業利益	14,242	10,958	△3,283	(△23.1%)
経常利益	14,349	11,385	△2,963	(△20.7%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	8,186	6,456	△1,730	(△21.1%)
一株当たり中間純利益(EPS)	206.13 円	162.56 円	△43.57 円	(△21.1%)

セグメント別業績

【物流事業】

- 一部セグメントにおける物量減や海上運賃下落等により減収
新拠点開設等のコスト増や物量減により減益

【不動産事業】

- 不動産流動化実施金額の減少により減収減益

(単位：百万円)

セグメント		23/2Q累	24/2Q累	増減額	増減率	増減内容
売上高	物流	205,551	204,897	△653	(△0.3%)	
	不動産	12,611	12,213	△397	(△3.2%)	不動産流動化実施額 減少 (△433)
	その他	4,503	4,628	+125	(+2.8%)	マーケティング事業増収
	合計	222,666	221,739	△926	(△0.4%)	
営業利益	物流	6,496	4,476	△2,020	(△31.1%)	
	不動産	7,374	6,158	△1,216	(△16.5%)	不動産流動化実施額 減少 (△933)
	その他	199	178	△21	(△10.5%)	環境・人材事業コスト増
	調整額	170	144	△26	(△15.4%)	
	合計	14,242	10,958	△3,283	(△23.1%)	
利益率		6.4%	4.9%			

主要グループ会社別業績

- SBS東芝ロジ : 半導体等の物量減や海上運賃下落、新拠点開設等コスト増により減収減益
- SBSリコーロジ : 精密機器等は堅調に推移するも、海上運賃下落や新拠点開設等コスト増により減収減益

(単位：百万円)

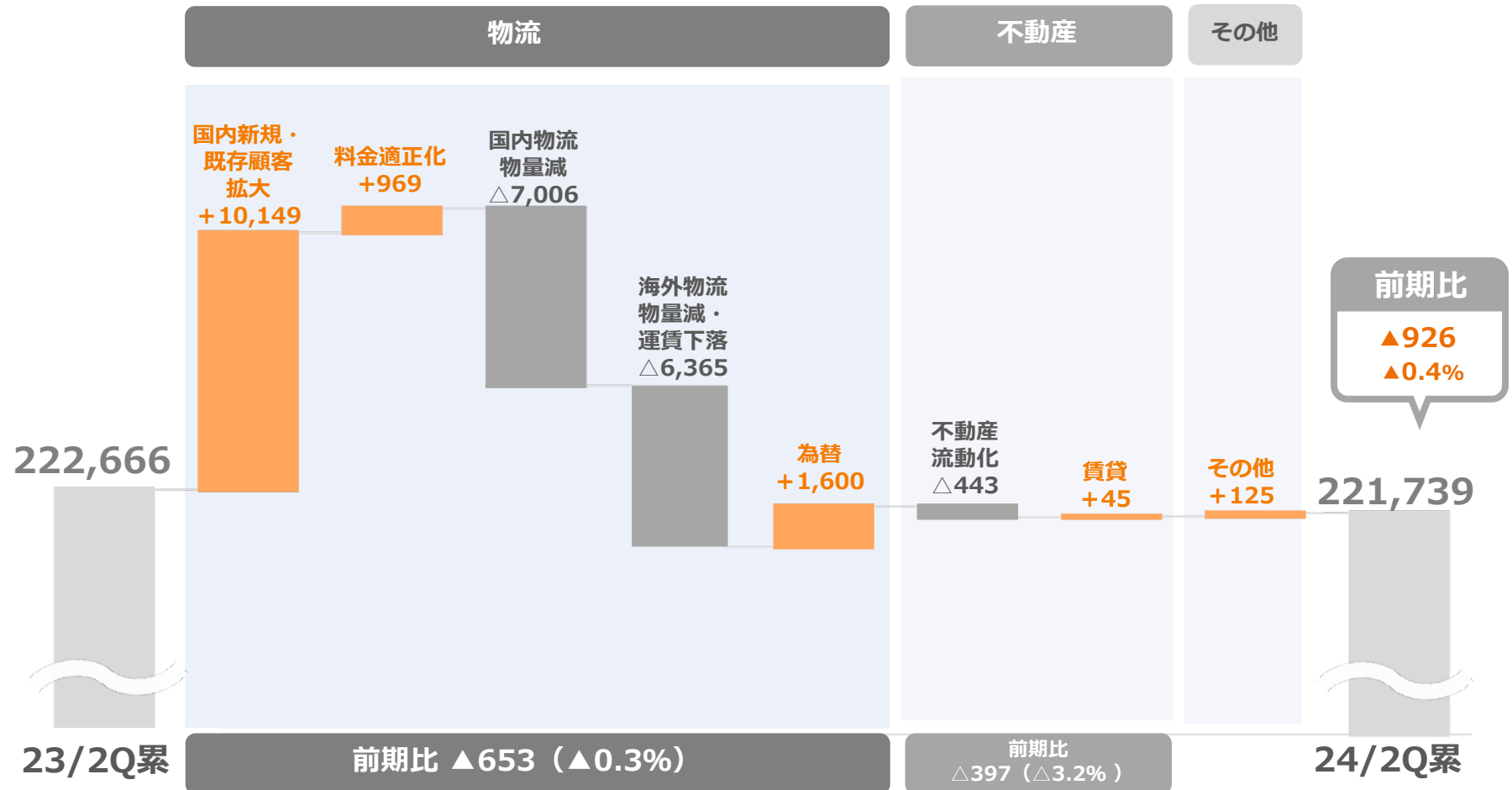
		23/2Q累	24/2Q累	増減額	増減率	増減内容
SBS東芝ロジスティクスグループ	売上高	58,563	56,986	△1,577	(△2.7%)	海上運賃下落、半導体等の物量減
	営業利益	2,513	1,425	△1,088	(△43.3%)	
SBSリコーロジスティクスグループ	売上高	52,451	50,691	△1,759	(△3.4%)	海上運賃下落、海外物量減
	営業利益	1,993	1,873	△119	(△6.0%)	
SBSロジコムグループ	売上高	34,655	36,492	+1,836	(+5.3%)	新規受注売上増
	営業利益	2,738	2,915	+176	(+6.4%)	
3社 合計	売上高	145,670	144,170	△1,500	(△1.0%)	
	営業利益	7,245	6,213	△1,031	(△14.2%)	
その他 計	売上高	76,995	77,569	+574	(+0.7%)	不動産流動化減益 (△933)
	営業利益	6,996	4,744	△2,251	(△32.2%)	
連結業績 計	売上高	222,666	221,739	△926	(△0.4%)	
	営業利益	14,242	10,958	△3,283	(△23.1%)	

※1 数値は、社内管理ベース

※2 SBSロジコムグループは不動産流動化数値を除く

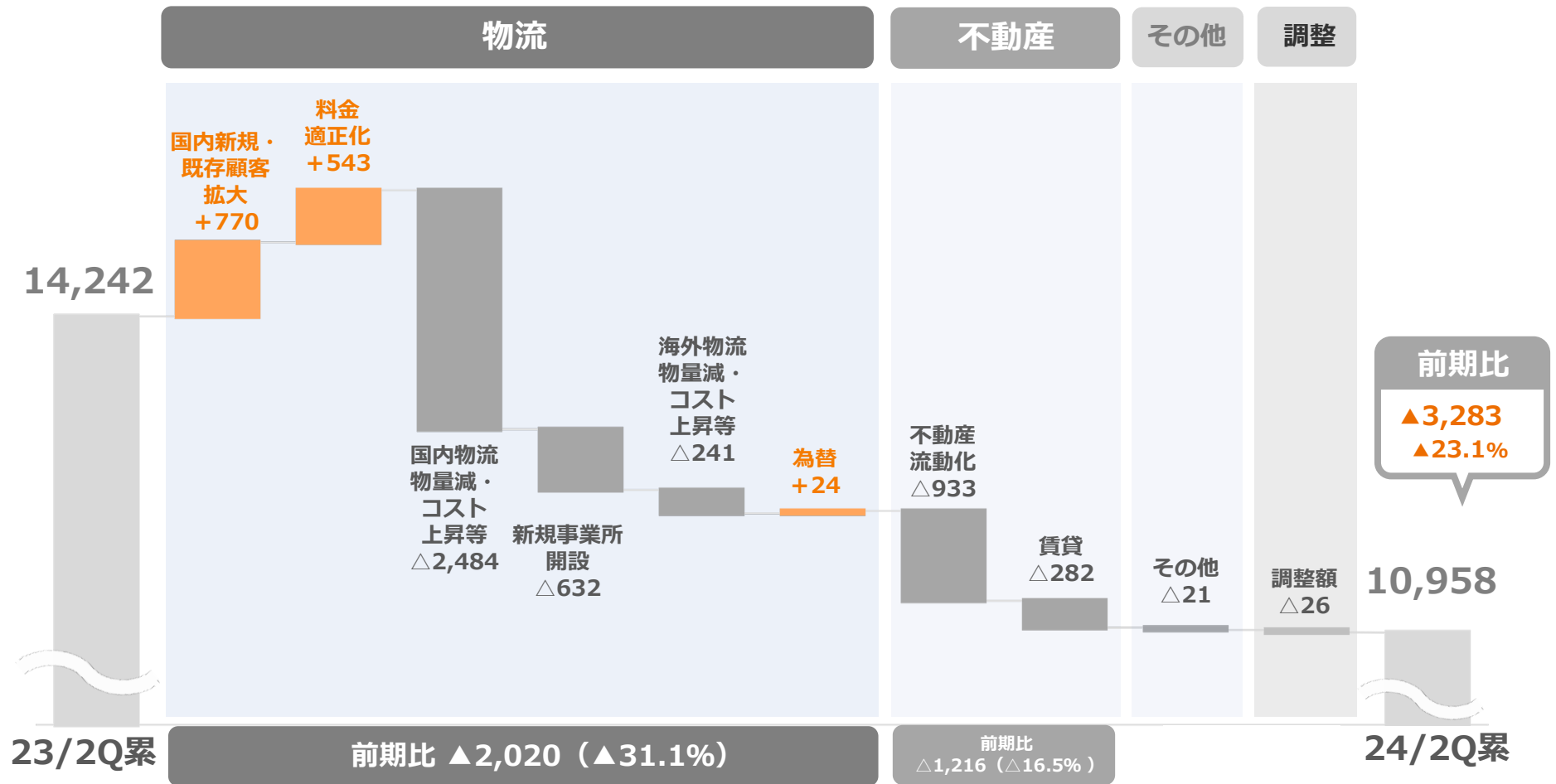
セグメント別売上高 増減要因

(単位：百万円)



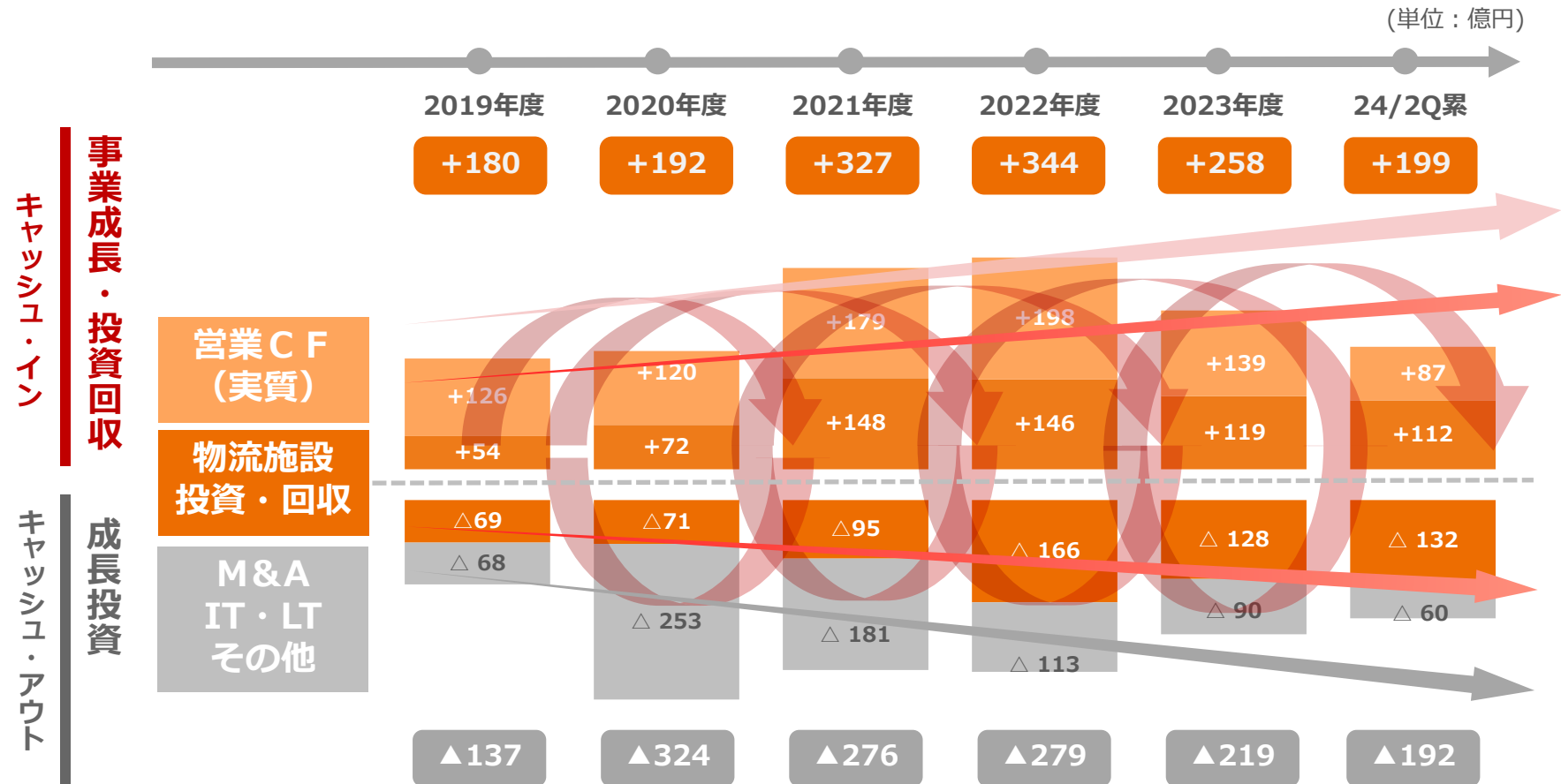
セグメント別営業利益 増減要因

(単位：百万円)



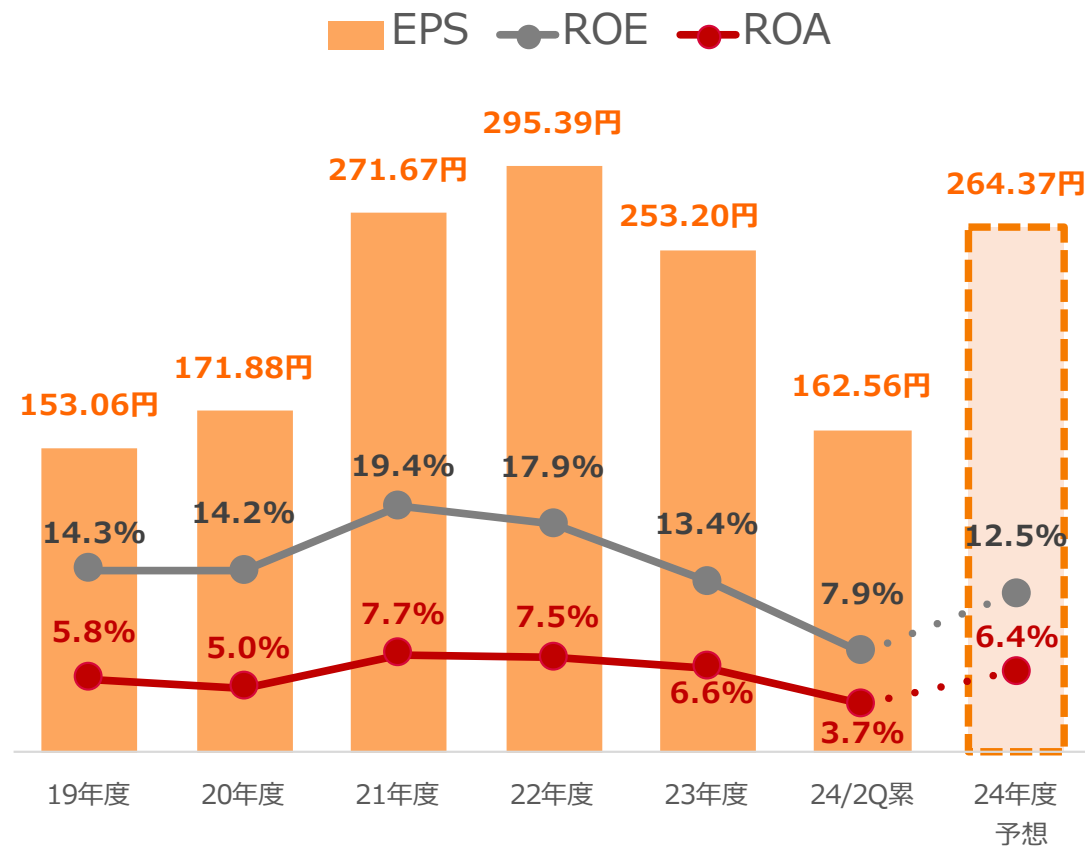
キャッシュ・フロー創出

- M&A・物流施設拡張によりキャッシュ・フロー創出力拡大。開発物流施設は投資・回収サイクルを加速
- 2024年度 2 Q 累は野田瀬戸等の倉庫投資、倉庫用地買収を実施し、物流施設投資を継続（132億円）
- 新杉田物流施設の流動化により投資回収（112億円）



フリーキャッシュ・フローを「営業CF（実質）」・「物流施設 投資・回収」・「M&A IT・LT その他」へ区分しております。

EPS・ROE・ROA推移



24年度(2024年12月期) 連結業績予想

- 通期業績予想は当初公表時から変更なし

(単位：百万円)

	実績 23年度	予想 24年度	増減額	増減率
売上高	431,911	450,000	+18,088	(+4.2%)
営業利益	19,719	21,000	+1,280	(+6.5%)
経常利益	19,747	20,500	+752	(+3.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	10,056	10,500	+443	(+4.4%)
一株当たり当期純利益(EPS)	253.20 円	264.37 円	+11.17 円	(+4.4%)

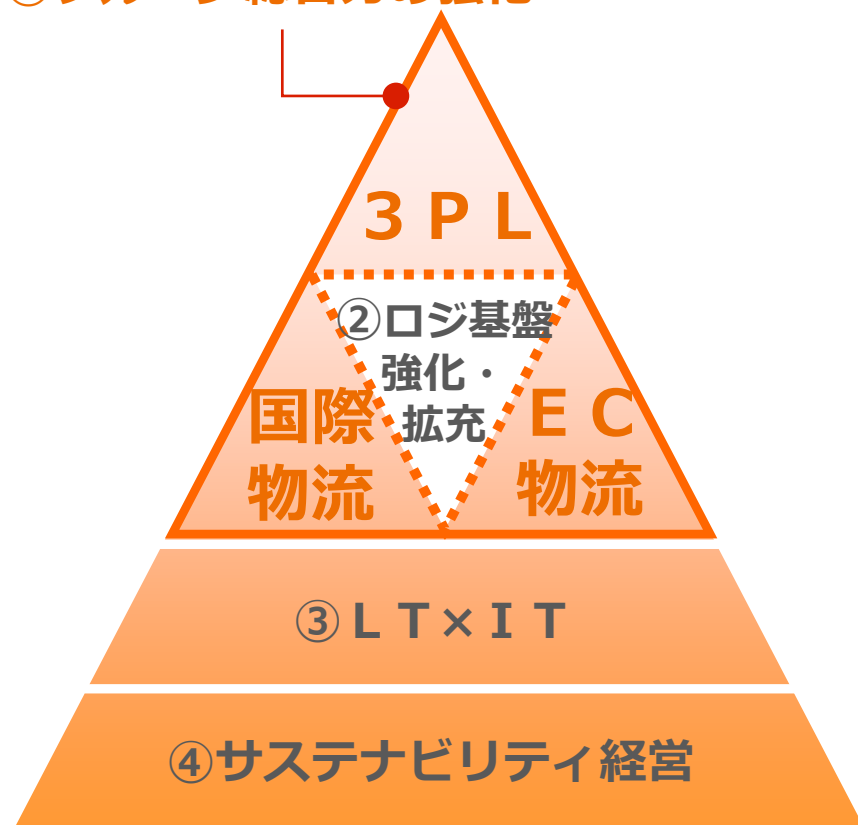
01 2023年度連結決算概要

02 SBSグループの成長戦略

グループ経営について

「SBS Next Stage 2025」重点施策

①グループ総合力の強化



グループ総合力の強化

(グループプラットフォーム戦略と各社の独自戦略)

- 3PLを中心にB to B事業のさらなる増強・深化
- EC物流の加速(ハイブリッドECプラットフォーム構築)
- 国際物流事業のグループ協働体制確立およびグローバル市場の成長取り込み

ロジ事業基盤の整備および拡充

- 倉庫・輸配送ネットワーク、EC物流機能、国際物流網等、グループの物流基盤強化
- 事業活動の主体となる人財の確保と育成
- M&Aによる経営リソース拡充

LT×ITによる業務生産性の向上、差別化

- 省力省人化技術の活用による物流現場のさらなる合理化、人手不足に向けた堅牢な運営体質づくり
- 物流データの活用による更なる物流の高度化 ～ 競争優位性の確立
- 管理部門の運営効率化により、間接業務におけるローコスト追求

サステナビリティ経営基盤の強化、人的資本に係る取り組み

- サステナビリティ経営を支えるガバナンス強化、重要課題の取り組み
- グループ内人財力・組織力の強化による企業価値の向上

3PL

TOPICS

■ 上期

▶ 進捗は計画どおり

新規荷主獲得、既存業務拡大により、荷量減を吸収しほぼ計画通りに進捗。

▶ 依然荷動きは鈍いが一部荷量増&回復

家電、OAマシン・サプライ配送、ドラッグストア等

▶ 2月「野田瀬戸物流センター」稼働

過去最大規模4万坪。第1号ECプラットフォーム拠点稼働。運営面積の約50%稼働。

■ 下期～

▶ 8月～「物流センター横浜福浦」開所

1.7万坪満床稼働予定（SBSリコロジ）

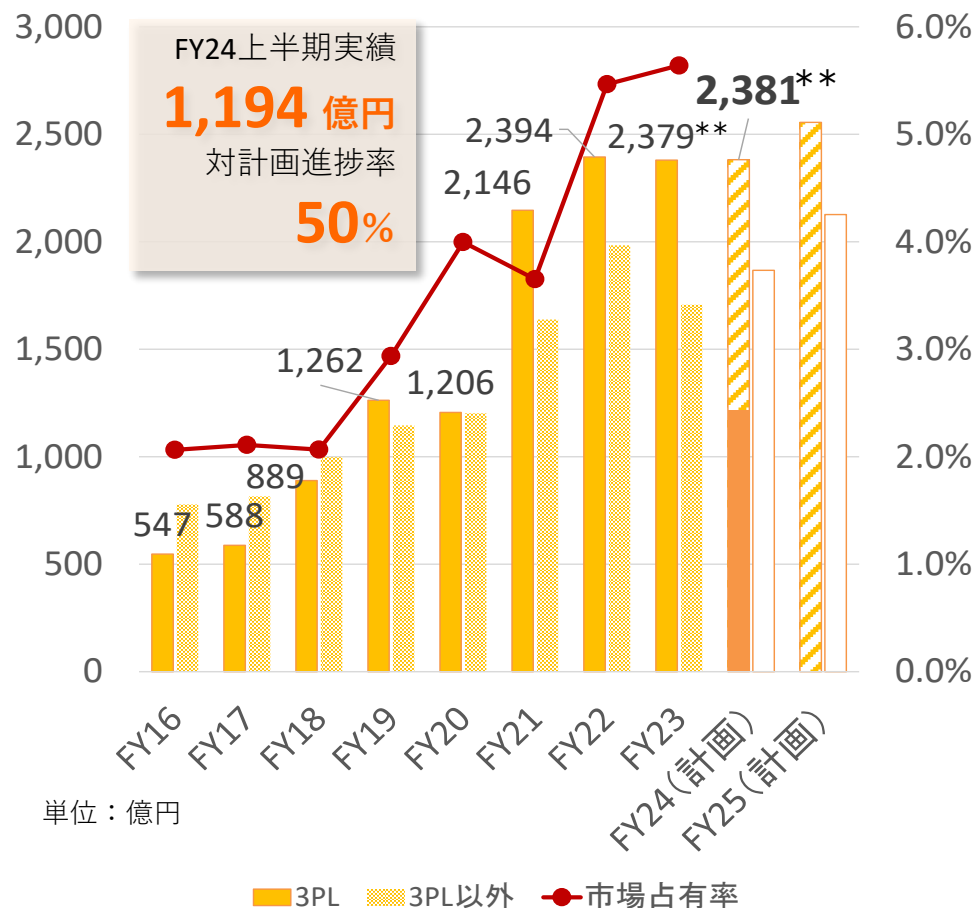
▶ 9月「医療プラットフォーム」拡大運営

@柏沼南倉庫（SBS東芝ロジ）

▶ 今期11万坪増床(上期8.1万坪/下期3.1万坪)

潜在的な成長力を蓄積。

3PL事業売上高推移と市場占有率*



* 市場占有率は、月刊「LOGI-BIZ」2023年9月号「3PL白書」のデータに基づき当社作成

** 2023年度実績および2024年度計画値は、2023年度決算説明会資料記載数値を修正しております

SBS Next Stage 2025 重点施策1：3PL/EC/国際 E C 物流

TOPICS

■ 上期

業界初、EC専用物流プラットフォーム 「EC野田瀬戸物流センター(1万坪)」稼働

- ▶ 受注状況：計画を上回るペースで進捗
- ▶ 稼働状況：計画どおり14社の立上げ完了。常時5社以上が稼働待機中
- ▶ 設備拡充：希少性ある定温設備（20度帯、30度帯）、冷凍冷蔵庫（約500坪、1F）
- ▶ 主要取扱品：サプリメント、食品、化粧品、アパレル、雑貨等

■ 下期～

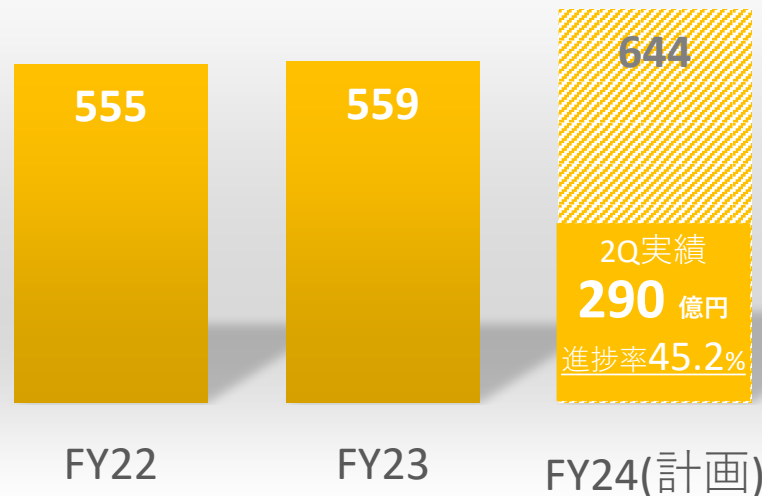
EC野田瀬戸

- ▶ 棚口ボ、高層型ロボット等LT稼働（12月）
- ▶ 25年度、EC野田瀬戸にて5,000坪増床決定

EC物流プラットフォーム拡充

- ▶ EC物流専用WMS開発PJ稼働（12月～）
- ▶ 2か所目のEC物流拠点稼働（12月～）
@大阪、約2,000坪

売上高（億円）



EC物流お任せくん

*22, 23年度実績および2024年度計画値は、
2023年度決算説明会資料記載数値を修正しております

SBS Next Stage 2025 重点施策1：3PL/EC/国際 国際物流

TOPICS

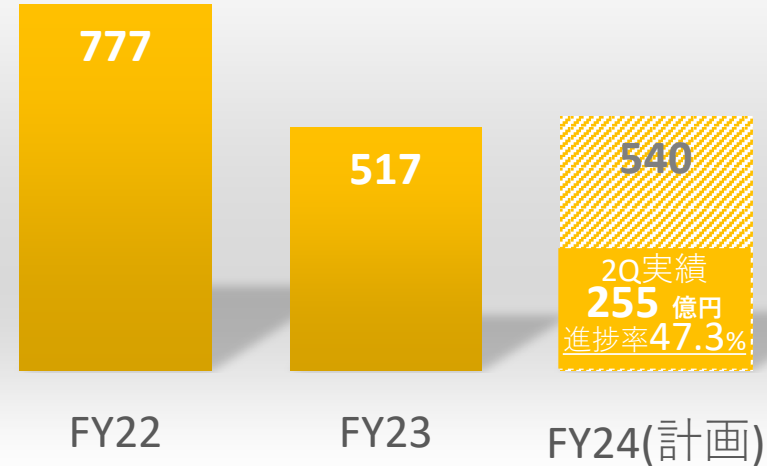
■ 上期

- ▶ **拠点統合により2系統体制へ**
SBS古河物流の香港・上海拠点、フィリピン現法をSBSリコロジと統合。SBS東芝ロジ海外拠点との2系統体制により効率化推進。
- ▶ **荷量低迷**…半導体、重量物、欧州向OA製品
- ▶ **荷量回復**…家電製品（2Q）
- ▶ **運賃回復**…中国発北米向（2Q）

■ 下期～

- ▶ **2系統（SBS東芝ロジ+SBSリコロジ）の海外事業推進体制が本格稼働**
主として東・東南アジアの発着貨物および同地域のローカル物流の取引拡大に注力。
- ▶ **M&A**
将来的に、欧米も含めたグローバルネットワーク拡充を目指し、海外M&Aも視野。

売上高（億円）



*22、23年度実績および2024年度計画値は、2023年度決算説明会資料記載数値確を修正しております



M&A：NSKロジスティックス

M&A TOPIX

■メーカー物流の課題

- ▶ 若年人口減少に伴うドライバー不足、24年問題から派生する物流コスト増、ESG経営の重要性が増しLTやEV活用等が急務。
- ▶ 物流事業にかかる豊富な経営資源、情報収集力、運営規模、機動力が物流事業の持続可能性に不可欠となっている。

■SBSGの目的および期待するシナジー

- ▶ **NSKグループ国内物流高度化**
NSKロジが一手に担うNSKグループの国内物流への投資を行い現場効率化、高度化を実現。
- ▶ **新規荷主獲得**
効率化の進捗と共に外販営業体制を構築、グループ各社と連携し新規荷主を獲得。
- ▶ **NSKグループの海外物流獲得**
将来的には未受託の海外物流を、SBSグループのリソース活用により新規受託を目指す。

➤ 協働し持続可能な物流を実現、共に成長！



概 要

社 名	NSKロジスティックス株式会社
本 社	東京都品川区大崎一丁目 6 番 3 号
代表者	代表取締役社長 米山 佳孝
設 立	1999年 8 月 25 日
資本金	90百万円
事業内容	物流業務全般（運送、保管、荷役、梱包、その他付帯業務）

SBS Next Stage 2025 重点施策3：LT×IT

LT導入状況

TOPICS

■ 上期

▶ GTP系ロボットソリューション (棚搬送型/高層型) ●

- ・ EC野田瀬戸物流センター (EC物流お任せくん)

▶ 搬送系ロボットソリューション (AGF/AGV) ●

- ・ 野田瀬戸物流センター (SBSロジコム)
- ・ 前海倉庫 (SBSリコロジ 中国)
- ・ 北関東物流センター (SBS東芝ロジ)

>> 倉庫の大型化に伴い搬送距離が増加。コンベアを固定化しない柔軟な搬送ロボットを優先して検討

■ 下期～

▶ 10月「新LTラボ」開設@物流センター横浜金沢 ●

- ・ 高密度&高出力ロボットの検証開始
- ・ ロボットアーム/GTP系ロボット連動 PoC実施

▶ GTP系ロボットソリューション 展開

- ・ 那須ロジセンター (SBS東芝ロジ)
- ・ NRC支店 (SBSロジコム)

>> 高密度&高生産性に加え
フレキシブル性を兼ね備えたソリューション検証へ



SBS Next Stage 2025 重点施策4 サステナビリティ経営基盤の強化、人的資本に係る取組み①



Coming
soon!

24年度版統合報告書、9月20日発行予定

- ▶ 2030・2050温室効果ガス削減目標開示
- ▶ Scope3（サプライチェーン排出量）開示※
※3カテゴリー

車両のEV化に向けた取組み（環境施策）

■ 1トクラスのEVバン導入

次世代型車両「F1VAN」を中心にSBSリコロジ、SBS即配サポの配送業務において活躍中！

■ 国内初！小型中古トラックをEV改造

- ・ 投資負担の軽減・中古車の有効活用に貢献。
- ・ 24年7月～ SBS自動車学校 姉崎自動車教習所で実用に向けた試験走行を開始。



24年6月末導入実績：33台

24年度導入計画：40台

SBS Next Stage 2025 重点施策4 サステナビリティ経営基盤の強化、人的資本に係る取組み②

ESG TOPIX

■ SBSグループ次世代リーダー育成

▶ グループ各社からの選抜

次世代経営層、リーダー層としてポテンシャルを有する課長・部長クラスから人材を選抜。20年度から開始。階層別に2種のプログラムを策定。

▶ Off-JTとOJTの有機的な組み合わせ

約1年にわたる専門研修（MBAショートコース、ケーススタディ、現経営層のレクチャー、アクションラーニング）を経て実際のポストへ登用。実務を通じ成長への加速を図る。

▶ 将来の経営チームとしてのコミットメントと連帯を醸成

近い将来における経営チームのメンバーとして、共に時間を共有し、チームワークと連帯を醸成する。

➤ 現在2期目のプログラムが進行中。
1～2期で修了者100名超。

包装の改善×環境負荷低減への取組み SBS東芝ロジスティクス

■ 「物流現場改善優良認定」 最高位“プラチナ”認定される

オール段ボール化・コンパクト化に包装デザインをアップデート。その他改善事例や累積ポイントが評価される。

- ▶ 包材費65%減、作業工数30%減
- ▶ プラ100%減、CO2量25%減
- プレスリリースは[こちら](#)



■ 「物流環境大賞」3年連続の受賞

ジャパンディスプレイ社と協働で二製品を同時に収納する包装設計で「特別賞」を受賞

- ▶ 包材使用量約60%減
- ▶ 輸送効率約2.4倍上昇
- ▶ CO2量約36%減
- プレスリリースは[こちら](#)



SBS Next Stage 2025 重点施策2：ロジ基盤強化・拡充 運営面積拡大計画

- 24年6月末時点で**100万坪超**
- 24年度の増床面積は11万坪になる見込み。次年度以降の伸びしろを蓄積。

時期	種別	運営面積(坪) *1	主な拠点概要			
			稼働時期	運営／開発	名称	面積(坪)
～2023年12月末		968,200				
	借庫	38,100	・ 2月～	SBS東芝ロジ	鶴ヶ島倉庫	2,400
			・ 2月～	SBSフレック	一宮センター	2,600
			・ 5月～	SBS東芝ロジ	柏沼南倉庫	8,700
			・ 5月～	SBS東芝ロジ	戸塚倉庫	5,200
			・ 6月～	SBSロジコム	滋賀湖南支店	13,000
			その他合計			6,200
	自社開発	43,800	・ 2月～	エルマックス	野田瀬戸物流センターA棟	43,800
2024年 1 ～ 6 月末実績		81,900				
2024年 6 月末までの 運営面積		1,050,100				
	借庫	33,500	・ 8月～	SBSリコロジ	物流センター横浜福浦	17,000
			・ 9月～	SBSフレック	厚木低温 D C	4,300
			・ 11月～	SBSリコロジ	物流センター八尾(仮称)	8,000
			・ 11月～	SBSゼンツウ	LOGI FLAG TECH 所沢I	2,900
			その他合計			1,300
		自社開発 (着工済)	30,000	・ 26年 8 月(予定)	エルマックス	富里物流センター(仮称)
	開発用地 *2	106,400		SBSアセマネ	野田瀬戸B棟	33,600
				SBSロジコム,SBS即配サポ	所沢土地A/B	11,000
				SBSロジコム	横芝光町土地	60,000
				SBSロジコム	かすみがうら土地	20,000
今後の増床計画 (2024年 7 月～)		169,900				
運営面積合計 (実績+計画)		1,220,000				

*1:運営面積…物流事業を運営するための有効面積(建築基準法上の延床面積とは異なります)

*2:開発用地…個別明細の面積は、建築基準法の延床面積(概算)を記載。合計面積は、個別明細の延床面積合計から、運営面積として見込む面積(延床面積のおよそ85%程度)を記載。

【ご参考】3,305,78㎡／坪

SBS Next Stage 2025 重点施策2：ロジ基盤強化・拡充 物流施設開発

2024年度は2件の不動産を流動化

●新杉田物流センター（24年1月流動化）

譲渡益：約**60.0**億円

延床面積：12,000坪

現況：SBSロジコムの子会社（ワイン、アパレル等）



●深川倉庫（24年12月流動化）

譲渡益：約**15.0**億円

延床面積：1,400坪

現況：貸倉庫

-建設中物件-

●富里物流センター（仮称）

所在地：千葉県富里市七栄字北大溜袋85-1-26

敷地面積：15,000坪、延床面積：**35,000**坪

工期：24年8月～26年8月



※「延床面積」は建築基準法に基づいた面積であり「運営面積」とは異なります

新CMスタート！～企業認知度向上＆採用強化～

■ 新イメージキャラクター決定！

新CMでは、斬新な物流サービスの提供を続けるSBSグループのイメージキャラクターとして、急成長中の若手俳優・**高橋文哉さん**が登場。

■ 採用活動にもCM活用

高橋文哉さんが「野田瀬戸物流センター」内でトラックや庫内の様子をレポート。SBSグループのユニフォーム姿にも扮し、最先端の物流センター業務の魅力を訴求。

 [SBSグループ CMギャラリー](#)

■ SNS活用をグループ全体で拡充

今後、TikTok等SNSメディアをグループ会社にて順次開設予定。ドライバーや若手社員の採用強化をめざす。



新CMキービジュアル



サービス紹介CM



採用強化用企業CM

主要グループ会社の業況

- SBSグループでは、グループ会社固有の保有能力を最大化し、**個社の強みを活かした自律的な成長をサポートすることで企業価値向上を実現。**

単位：億円

成長戦略	24/2Q 実績	24計画 進捗率	YoY
SBS東芝ロジスティクス - 既存事業…国内外とも重量品、半導体の荷量減が継続。 - 新規獲得…対前年同期比2倍強の実績。3拠点約1.5万坪開設。 LTを導入し拡充した「医療プラットフォーム」にて新規荷主立上げ予定。 - 引き続き、30年度2,000億円を目指しプロジェクト推進。	569	48%	△3%
	14	32%	△43%
SBSリコーロジスティクス - 海外事業…荷量増および運賃切替により持ち直し。 - 国内事業…料金改定反映は計画通り進捗するも荷動きは鈍いまま進捗。 - 関西EC拠点開設…11月～、大阪府八尾市にて立上げ予定。 SBSリコーロジによる運営拠点として満床稼働を目指し営業活動中。	506	47%	△3%
	18	43%	△6%
SBSロジコム ※不動産流動化数値を除く - 次世代リーダー層の登用を通じ変革加速。27年度に1,000億企業を目指す。 「野田瀬戸支店（野田瀬戸物流センター内）」、初月(2月)から黒字稼働。 - 物量、作業量減を、料金改定や効率化提案、新規立上げの早期黒字化等でカバー。ほぼ計画通りに進捗。	364	48%	+5%
	29	49%	+6%

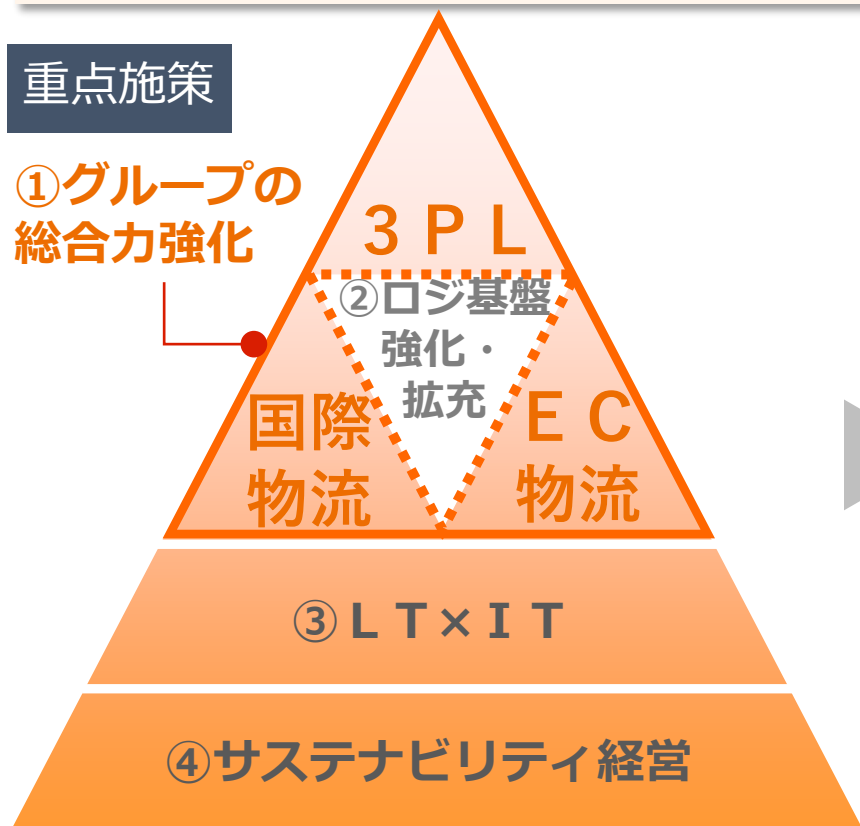
※ 上段：売上高／下段：営業利益
※ 数値は社内管理ベース

中期経営計画「SBS Next Stage 2025」

- ▶ グループ内でのインフラ共有化（プラットフォーム化）を通じ規模のメリットを追求すると同時に、グループ各社の特色を生かした独自事業戦略を強化・拡充
- ▶ さらなる成長のため、インフラ投資（物流施設、LT×ITを中心に）を加速
- ▶ サステナビリティ経営への取り組みを強化

重点施策

①グループの 総合力強化



数値目標

	FY23(実績)	FY24(予想)	FY25(目標)
売上高	4,322	4,500	5,000
物流	4,090	4,248	4,681
不動産	138	151	219
その他	93	100	100
営業利益	197	210	275
物流	115	130	190
不動産	79	79	80
その他	3	4	5

(単位：億円)

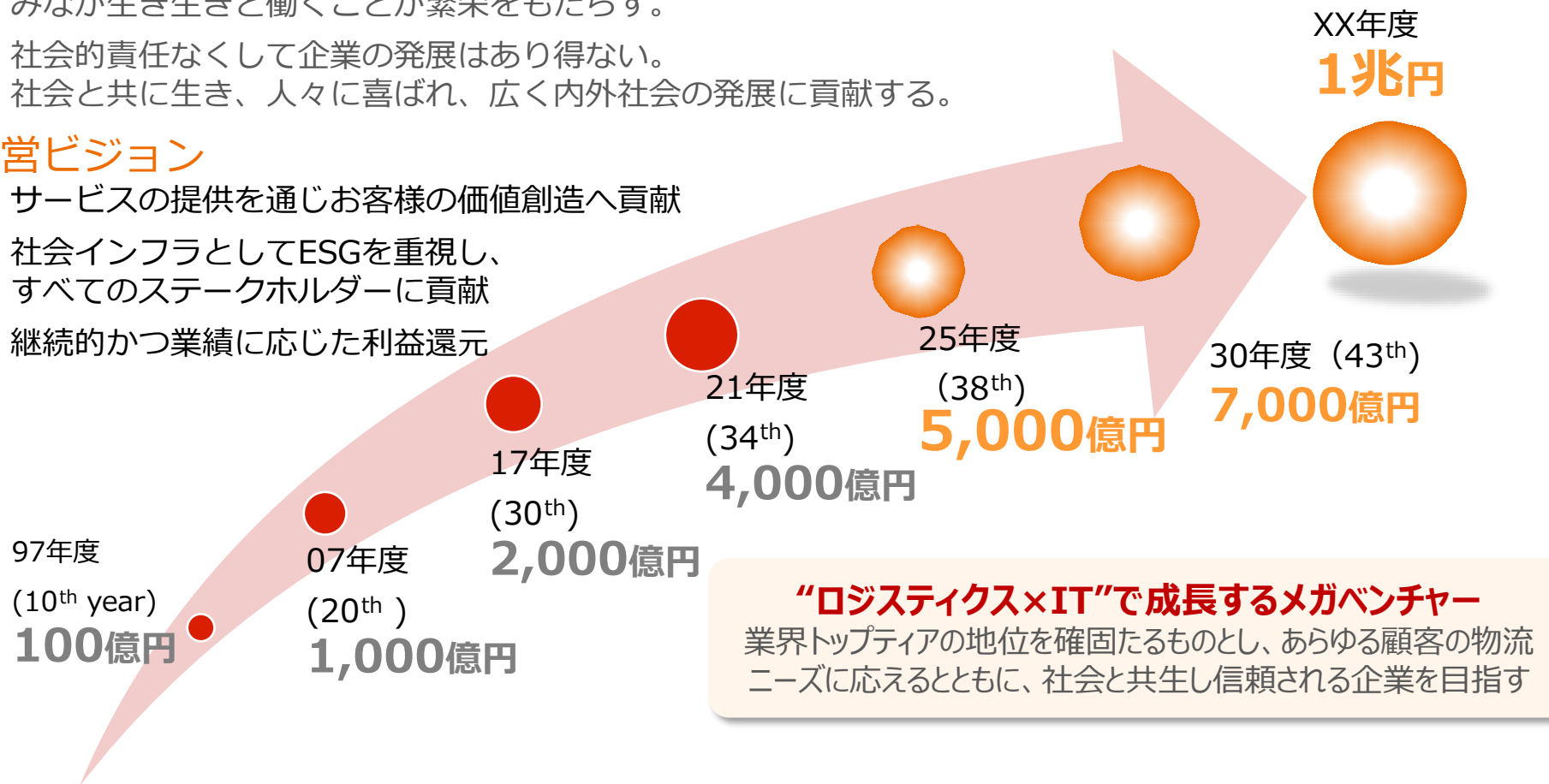
目指す姿

経営理念

- われわれの提案するサービスによって、お客様に喜ばれ、株主に喜ばれ、そして社員の幸せにつながる会社を目指す。
- 企業の永遠の繁栄は、人を大事にすることにある。
みなが生き生きと働くことが繁栄をもたらす。
- 社会的責任なくして企業の発展はあり得ない。
社会と共に生き、人々に喜ばれ、広く内外社会の発展に貢献する。

経営ビジョン

1. サービスの提供を通じお客様の価値創造へ貢献
2. 社会インフラとしてESGを重視し、
すべてのステークホルダーに貢献
3. 継続的かつ業績に応じた利益還元

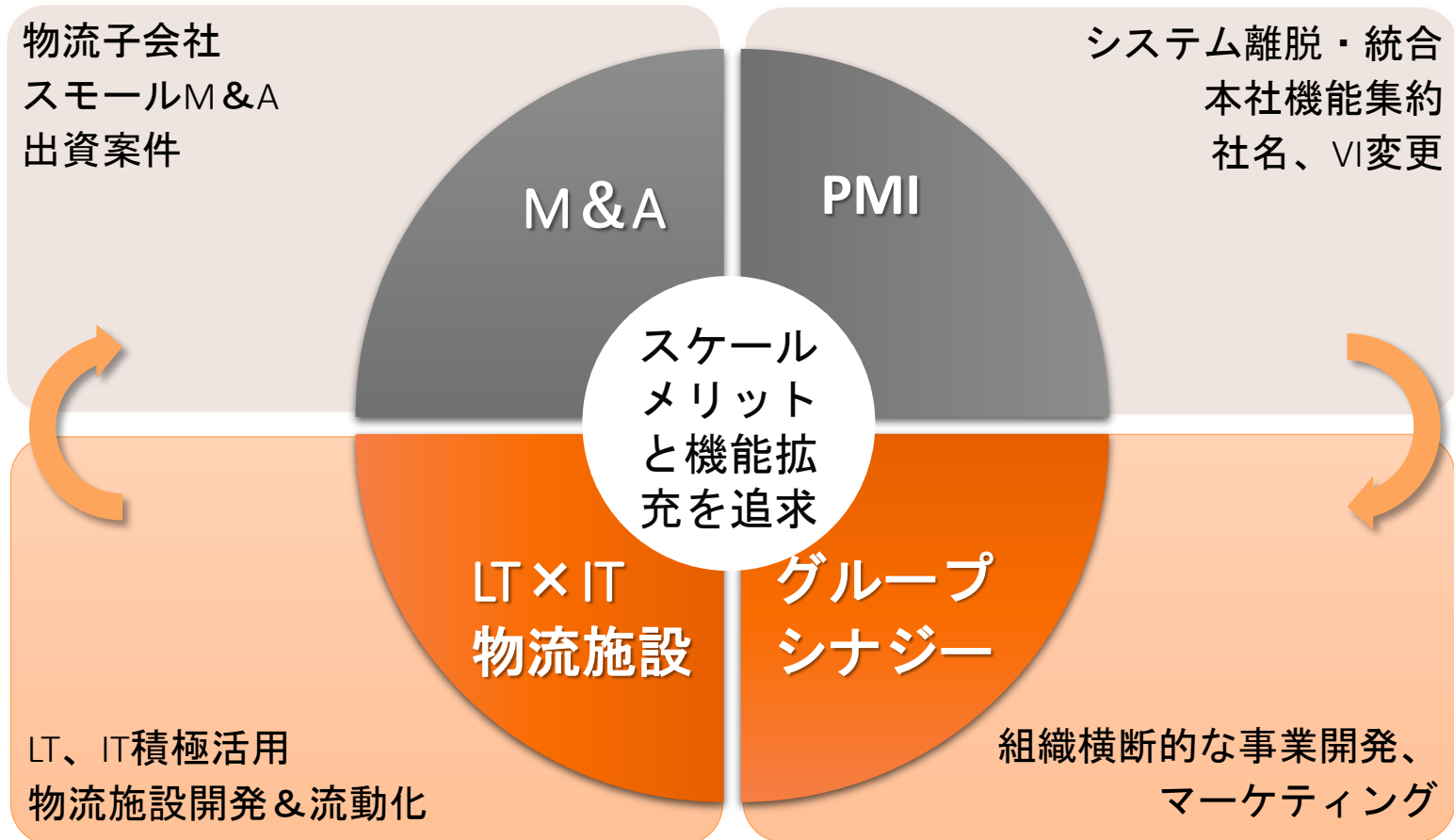


ご参考資料

APPENDIX

SBSグループの成長戦略

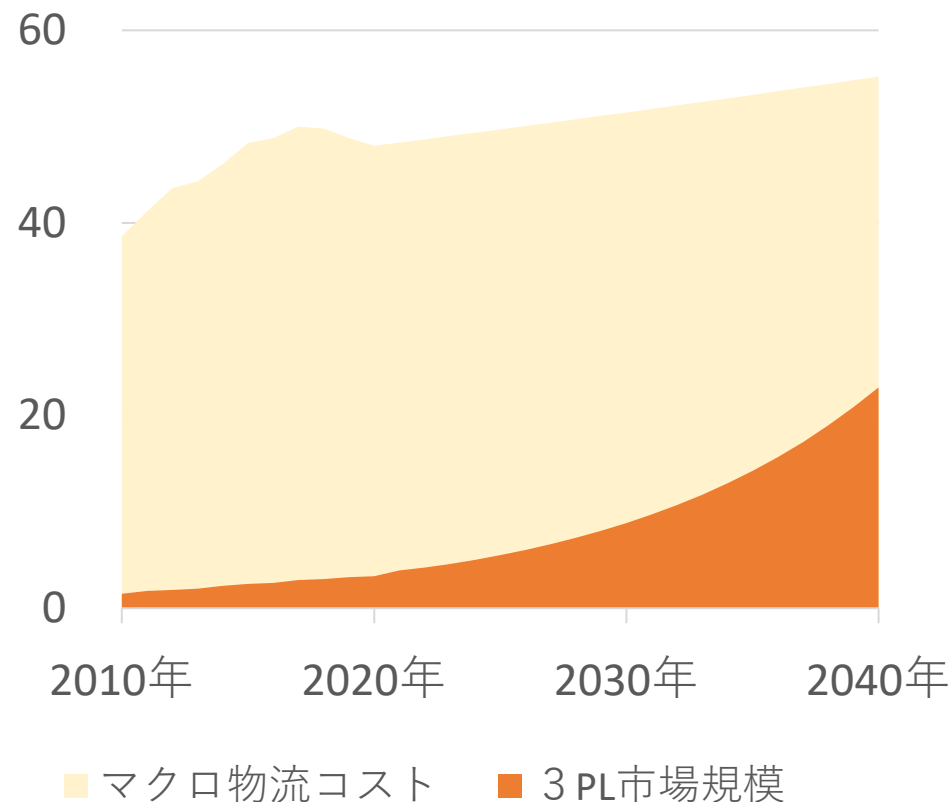
- M&Aを通じた非連続的成長と物流事業の自律的成長が有機的に作用
- グループシナジー創出の基盤となるPMIは国内屈指の実績を有する



物流の高度化がもたらす市場構造の変化

- 2010～2022年の3PL市場規模のCAGRは、8.4%
- 荷主企業にとって、社内に内在する物流機能は、今後高騰する人件費や燃料費に加え、2024問題にかかる労働時間規制などに対応するため、効率化のための多額の投資が必須となる。これによりコスト負担感が増すことから、今後はアウトソーシング化が加速する見通し
- 従来は主に省コストの為に注目されていた3PLだが、投資能力を有する物流専門の事業者の高い専門性や高度なシステムを求める荷主が増加
- 豊富な実績とLT、ITの専門部隊を持つSBSグループのニーズが高まると見込む

単位：兆円



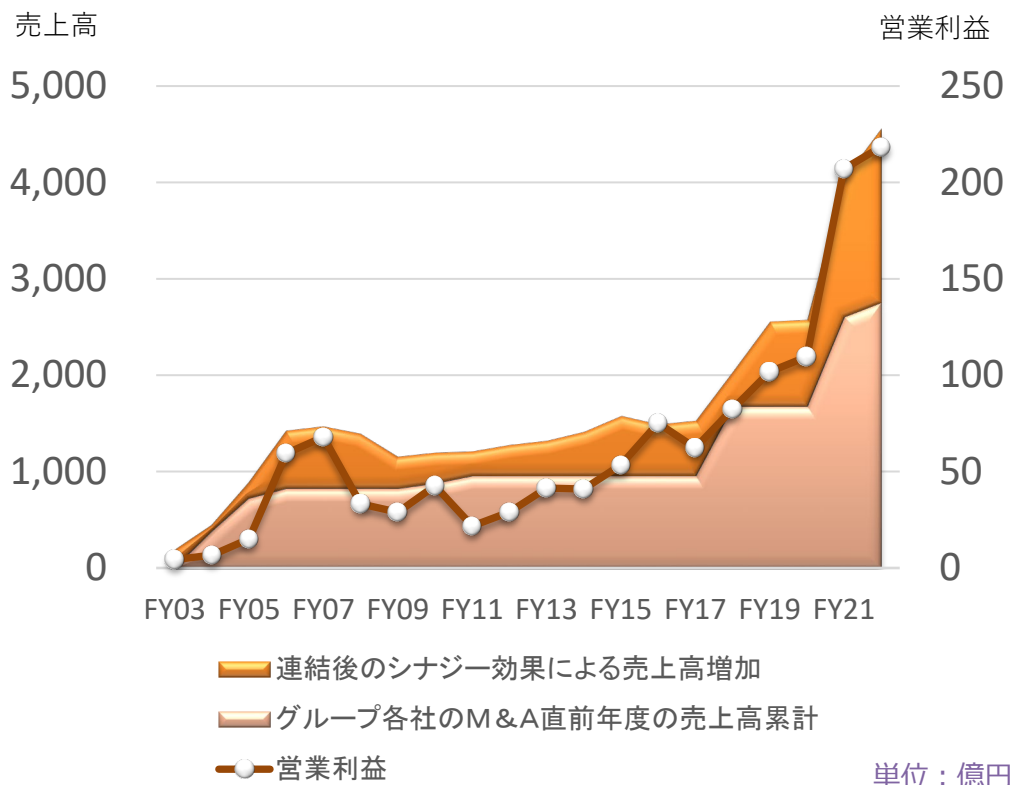
※JILS「2022 年度 物流コスト調査報告書」、LOGI-BIZ「3PL白書」(23年9月号)のデータをもとに作成。
3PLは2023～2024年CAGR9.0%、2025年以降のCAGRを10%とし、マクロ物流コストは2021年度以降のCAGRを0.7%とした。

M&A実績

• FY03～、JASDAQ上場以来、成長戦略の柱の一つとしてM&Aを実行

- FY03～FY22、20年間の投資総額は、約830億円（売上高:**24**倍 営業利益:**56**倍）
- 国内大手企業の物流子会社を中心にM&Aを実施、PMIを通じて企業価値向上を実現

FY	主要M&Aの沿革
04	• 雪印 物流（現:S B S フレック）
05	• 東急 ロジスティック • ティーエルトランスポート ※旧 小田急 トランスポート （3社とも現S B S ロジコム）
06	• 全通（現:S B S ゼンツウ）
10	• ビクター ロジスティクス （現S B S ロジコム）
18	• リコー ロジスティクス （現S B S リコーロジスティクス）
20	• 東芝 ロジスティクス （現S B S 東芝ロジスティクス） • 東洋運輸倉庫（ SMC グループ）
21	• 古河 物流（現S B S 古河物流）



将来予測について

- 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクおよび不確実な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、経済情勢や市場動向等により、記載されている予想数値と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ先：IR・広報部】

Tel : 050-1741-2240

Mail : contact11@sbs-group.co.jp

URL : <https://www.sbs-group.co.jp/sbshlds/ir/>



SBS GROUP

For Your Dreams.